

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	交通政策課
	施策	自転車の利用環境の向上		電話番号	087-839-2138
	基本事業	自転車利用の更なる促進		事業実施主体	市
	事務事業	放置自転車等対策事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	快適で安全なまちづくりを目指すため、放置自転車等の警告、移送、保管、返却、処分等を行う。		
概要	5年度 放置自転車の警告、撤去、移送業務を14回/月行う。 放置自転車の返還業務を年間248日行う。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象(何を)	放置自転車の禁止区域
意図(どのような状態にしたいか)	放置自転車を減少させ、交通の円滑化を目指す。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
放置自転車警告撤去回数	回	168	168	168	168	168

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	放置自転車警告件数	台	目標値	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000
			実績値	32,513	34,098	35,265		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
	広報やポスターなどによる放置自転車対策に関する周知・啓発に努めたことにより、目標を十分に達成することができた。 							145.7%
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(予算)
トータルコスト	[円]	43,877	43,698	43,311	45,154
(事業費)	[円]	38,265	38,035	36,201	38,044
(職員人件費)	[円]	5,612	5,663	7,110	7,110

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
広報やポスター等で放置自転車対策に関する周知・啓発の効果により、放置自転車の減少に寄与した。 警告 35,265台 移送 2,595台 返還 1,239台			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
制度の周知・啓発に努め、放置自転車のない快適なまちづくりを進めるための対象区域の拡大や、コスト削減のための撤去回数の見直しを検討する。 また、中心市街地(中央商店街等)の放置自転車対策に係る新たな手法や、放置自転車禁止区域の見直しを検討する。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	交通政策課
	施策	自転車の利用環境の向上		電話番号	087-839-2138
	基本事業	自転車利用の更なる促進		事業実施主体	市
	事務事業	駐輪場整備事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	自転車等の利用者の利便を図るとともに、放置自転車を減少させるため、自転車等駐車を整備する。		
年度概要	民間駐輪場補助事業（継続 7件 3 3 3台）		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	


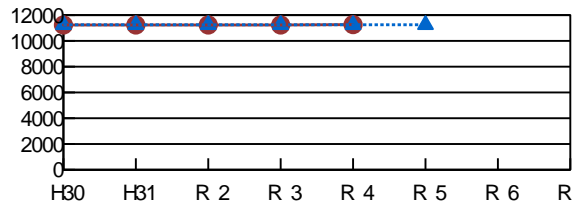

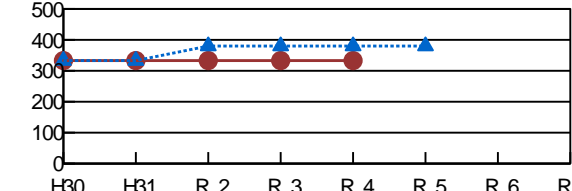
【事業の目的】

対象（何を）	整備が必要な駅及び商店街
意図（どのような状態にしたいか）	市内の放置自転車を減少させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
新規駐輪場整備台数	台	0	0	30	10	10
民間駐輪場への補助金交付件数	件	7	7	7	8	8

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
鉄道駅周辺公共駐輪場の収容台数	台	目標値	11,252	11,252	11,252	11,252	11,252
		実績値	11,234	11,234	11,264		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標台数を達成するため、鉄道事業者の協力も得ながら、今後とも駐輪場の整備に努めていきたい。 					(達成度) 100.1% 35点		
補助駐輪場の収容台数	台	目標値	380	380	380	380	380
		実績値	333	333	333		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標台数を達成するため、商店街振興組合と連携し、引き続き商店街駐輪場の確保に努めたい。 					(達成度) 87.6% 30点		

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[千円]	24,695	9,342	11,424	9,774
（事業費）	[千円]	22,899	7,530	9,179	7,529
（職員人件費）	[千円]	1,796	1,812	2,245	2,245

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

ことでん円座駅に新たに駐輪場を新たに整備し、鉄道駅周辺公共駐輪場の収容台数が増加した。引き続き、鉄道事業者等の協力を得ながら駐輪場整備に努める必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

令和 4年 4月に策定した、「第 3期高松市自転車等駐車対策総合計画」に基づき、鉄道事業者等の協力を得ながら、必要な自転車等駐輪場整備とともに、放置自転車対策や駐輪場利用者のマナー向上の啓発などにも取り組む。また、中心市街地（中央商店街等）における自転車等駐車場のあり方を検討し、整備方針を立てる。